

特長

- 1 特殊エポキシ塗料で強力な防錆パワー
- 2 水溶性で鉛、クロム等の重金属を使用していません
- 3 超速乾性で作業性も抜群です
- 4 付着性が良好でステンレス・アルミ鋼板等にも密着
- 5 溶剤系アクリル樹脂、フタル酸系塗料の上塗りが可能です

性状

色相	グレー			
密度(20℃)	1.38	希釈	清水(水道水)	
標準塗布量	140~180g/m <sup>2</sup>	引火点	なし	
膜厚	Dry 30~40μ	消防法分類	非危険物	
乾燥時間(H)		5	20	30
	指触	30分	20分	15分
	半硬化	1.5時間	3時間	2.5時間
塗装間隔	最短	4時間	3時間	2.5時間
	最長	7日間		

社内試験結果

試験項目	試験成績	社内規格による試験成績
容器の中での状態	合格	かき混ぜたとき堅い塊がなく一様になること
耐屈曲性	合格	直径6mmの折り曲げに耐えること
付着性	合格	暮盤目テープ法
耐塩水噴霧性	合格	168時間塩水噴霧試験に耐えること
耐複合サイクル防食性	合格	36サイクルの試験に耐えるものとする

標準塗装仕様

工程	使用塗料	標準塗布量(kg/m <sup>2</sup> /回)	標準膜厚(μ/回)	希釈率(%) (重量比)	塗り重ね乾燥時間(23℃)
タッチアップ	サビキラー	0.14	30~40	0~5	3間以上
	エポプライマー	0.18			
下塗り	サビキラー	0.14	30~40	0~5	3間以上
	エポプライマー	0.18			
上塗り(1~2)	サビキラー	0.13	25~35	0~5	3時間以上
	トップ	0.19			

オール水性防錆工法

サビキラーシリーズオール水性防錆工法とは、サビのない所には強力サビ予防、すでに発生しているサビには徹底的にサビの進行を止め再発を防止するという過程を全て環境に配慮された水性塗料で行う工法です。水性塗料のみでしつこいサビを根こそぎ封じ込める画期的な工法と言えます。サビの進度や環境によって適した方法をお選びください。

	下塗り	上塗り
サビ有り	サビキラープロ	サビキラーエポトップ
サビ無し	サビキラーエポプライマー	サビキラーエポトップ

用途

鉄骨構造物  
金属一般  
ステンレス・アルミ鋼板

荷姿

16Kg  
4Kg



塗装条件

環境	温度 5℃以上 湿度 85%以下	
素地調整	浮錆・劣化塗膜・油分や埃を除去 SIS-St3.0以上活膜は目荒らしを行ってください。	
塗装方法	刷毛・ローラー	エアレススプレー
希釈率	0~5%	0~5%
標準使用量	140~180g/m <sup>2</sup>	
標準膜厚	30~40μm	
標準塗装回数	1~2回	

適用上塗り

サビキラーエポトップ / その他上塗り塗料

使用方法

塗装面の油分・水分・ゴミ等はきれいに取り除いてください。サビがある場合はサビを完全に落とすか、**サビキラープロ**(別売)を下塗りにご使用ください。

本品をご使用前に棒などでゆっくり泡がたたないよう**充分にかき混ぜて**ください。もし混ぜたり振ったりして気泡ができた場合は気泡がなくなってからご使用ください。

使用する量を別の容器に移しご使用ください。

そのままでも使用できますが、塗りにくい場合は水で希釈してください。(約5%)

使用上の注意

通気性の悪い所や湿度が高い降雨時の塗装は、密着不良や乾燥不良によるダレの原因になります。

低温時等、気象条件が合わない場合は塗装を行わないでください。塗装後乾燥前に雨や雪が当たらないようにしてください。

間違えて塗装した場合は、本品が乾かないうちに布等で拭き取ってください。使用後の余った塗料は容器に戻さないでください。

**サビキラーエポプライマーは鉄部表面にサビがない場合にサビ止め効果を発揮します。しかし少しでもサビがある場合は別売のサビキラープロ(水性錆転換塗料)を下塗りにご使用いただくことをおすすめします。サビキラープロはすでに発生しているサビに対して再発を予防します。またサビ落としをせずにサビの上からそのまま塗装できます。**

発売元

販売代理店

製造元



〒262-0011 千葉県千葉市花見川区三角町118  
E-mail : info@ban-zi.jp  
URL : http://www.ban-zi.jp